

民間交渉人が伝授・現代サバイバル術 2

【詐欺・スキミング編】

～ 目次（全28ページ）～

- バッタもん釣られちゃ、ダメだよ。“フィッシング詐欺”で初逮捕 2
- ゴルフ場での「スキミング」は氷山の一角。貴方の極近くにある恐怖 8
- “悪質設備業者”は、「他の工事」を見計らってやって来る。気を付けろ！ 13
- これが行政処分を受けた“悪質業者”だ！！知らずに欺されているかも… 19



この無料レポートは、メルマガの中で、
特に、反響が大きかったものを選び、
加筆・修正を加えて、新たに編集したものです。

企画・製作 住みやすい世の中を作る研究会

<http://www.unlimit517.co.jp/greyzone.htm>

発行責任者 Tak

バッタもん釣られちゃ、ダメだよ。“フィッシング詐欺”で初逮捕

「Y a f o o」を開設して、遂に、“フィッシング詐欺”で初逮捕。えっ、何で、それで捕まるの？疑問に思った方、ちょっとした注意力が、貴方を守る。

【“フィッシング詐欺”って何？】

このメルマガでも、何回かに渡り、“フィッシング詐欺”は取り上げて来ました。ただ、具体的事例は挙げても、この詐欺単体での掘り下げは、少なかったように思います。ここでは、成り立ちも含めて、説明します。

“フィッシング詐欺”とは…本物そっくりの偽HPや偽メールなどを巧みに利用し、ユーザーをだまし、パスワード、ID、クレジットカード番号などの個人情報を盗取る詐欺。

フィッシング(Phishing)の語源は、オンラインを使った詐欺師が、メールのルアーを使って、インターネットユーザーの海から、個人情報を釣り上げる(fish)ところから来ているらしい。

fの前のPhには、諸説あり、一般的には、「sophisticated(洗練された)」から来ているといわれているが、「phreaking(ネットワークへのアクセスを得る)」ではないかという説や、ハッカーの命名規則に則って、という話もある。

2003年頃から、米国では、銀行やカード会社になりすました第三者が、不特定多数に、メールを送信して、偽HPに誘導し、入手した暗証番号などを悪用して、多額の現金をだまし取る“フィッシング詐欺”が社会問題化。

ある調べによると、この年だけで、178万人が被害に遭い、約12億ドル(約1,300億円)の被害額に上った。日本でも、昨年辺りから、被害が報告され、今回、初逮捕となった。

警察庁によると、全国警察本部に設置した「フィッシング110番」には、2004年12月下旬～2005年5月末まで、195件の通報があった。大半が、3月に発覚した「UFJ銀行の偽サイト関連」との事。

「こんな中で、捕まった手口はどんなモノだったのか？」

【“フィッシング詐欺”で初逮捕】

6月13日、警視庁ハイテク犯罪対策総合センターなどは、「著作権法違反」と「不正アクセス禁止法違反」の疑いで、大阪市の会社員・藪野容疑者を逮捕した。彼は、コンピュータシステム管理会社のシステムエンジニアであった。

その手口とは・・・

標的は、国内最大のポータルサイト「Y a “ h “ o o」。彼は、このデザインをそっくりパクって、名称もわずか1字違いの「Y a “ f “ o o」を偽造したのだ。2月の開設から、1ヶ月で70人のアクセス。その内、20人が、IDやパスワードを打ち込んでいた。うまく“キャンペーン”などを装い、招き入れた。

捕まるきっかけは・・・

盗んだIDやパスワードは、携帯電話に転送された。それらを使って、2月20日、Y a h o oのサーバーコンピュータに、「不正アクセス」をしてしまった。これが、“逮捕のきっかけ”となる。

日本では・・・

未だに、他人のIDやパスワードを入手する行為自体を取り締まる法令自体がないため、入手したIDやパスワードを使い「不正アクセス」したり、「詐欺」を行なうなどしない限り、摘発し、罰することが、出来ないのである。

しかも、藪野容疑者は、最初は「海外のサーバー」を使用していたようだが、それを「国内のサーバー」に切り替えた。これも逮捕要因の一つ。U F Jの件もそうだが、「海外のサーバー」を使われると、治外法権、捜査権など様々な事由が絡んでくるため、なかなか罪を立件出来ないのが、現状である。

「“フィッシング詐欺”って、これだけなの？対策法は??」

【“フィッシング詐欺”のやり口と対策法】

“フィッシング詐欺”には、次のような「やり口」がある。

1. スпам

スパム・メール＝営利目的、フィッシング・メール＝詐欺目的。目的や内容は違うが、様々な方法で、収集したメールアドレス宛に、無差別に、メールを大量配信するというやり口は一緒だ。スパマー(スパム送信者)のメアド収集術や無差別大量配信の技術は、そのまま利用される。

[対策法]

メーラー(メールを受信するアプリ)のフィルタリング機能により、フィッシング・メールやスパム・メールを、最初から、振り分けてしまう。最近のメーラーは、「“迷惑メール”排除機能」などとして、フィルタリング機能が強化されている。

ただ、間違いなども多いので、どんどん学習させていかなければならない。

一方、私も使用しているのだが、「Outlook Express」では、このフィルタリング機能が弱過ぎる。今後、これら“迷惑メール”が増えることを考えると、メーラー変更も、考慮に入れた方が良いかもしれない。

2. スプーフィング(なりすまし)

偽メールや偽HPであることを、ごまかすために、「スプーフィング」の技術が使われる。例えば、一般の人が、本物か偽物かを識別するために、確認するWEBブラウザの「アドレスバー」「ステータスバー」「メール差出人欄」などの表示を、本物と同じにしてしまう技術である。

これに悪用されるのが、「セキュリティホール」や「Java Script」等である。

[対策法]

不用意に、何でもかんでも、クリックしない。初めて行くページは、面倒臭くても、「自分で直に打ち込み確かめる」こと。何度も行くページに関しては、お気に入り(ブックマーク)に登録しておき、そこから、飛ぶようにする。

3. ソーシャル・エンジニアリング

人の心理を巧みに突き、ついうっかりと「個人情報」を漏らしてしまうようにし向ける技術。メールの“タイトル”や“本文”に工夫を凝らし、うま〜く偽HPに誘導する。

例えば、「パスワードの期限切れ」「セキュリティ向上」「不足金の発生」などの理由をでっち上げ、ユーザー情報の再入力を求めるという類のモノである。

訪問したHPは、本物そっくり(今回の事件同様)に作られていて、更に、ニセモノだと気付かせないために、ユーザー情報入力後、「メンテナンス中」などのエラーメッセージを表示するなど、手が込んでいる。

[対策法]

初めて行くHP(サイト)で、不用意に、「個人情報」を打ち込んでしまわない。

確かに、私が感心してしまうほど、巧みな「タイトル」や「文章」は存在する。特に、出会い系、ネットビジネス系、AV系、薬系などには、非常に、気を付けるべきである。

「情報を再入力してくれ」という趣旨のメールが来たら、メールやネットじゃなく、“電話”で、相手の所在を明らかにした上で、確かめてみる(本当の会社に電話すれば、ウソか真実か、が分かる)。

Y a “ h ” o o と Y a “ f ” o o など「文字にも注意」を払う。詐欺などに対して、“これは、おかしい”という感性は、何でも、鵜呑みにしない事から養われる。

4. マリシャス・コード（悪意のあるコード）

ウィルス、ワーム、トロイの木馬を利用し、コンピュータを乗っ取る。遠隔操作出来るようになったコンピュータは、偽メールの配信やフィッシングHPを構築するために、使われてしまう。

[対策法]

「ウィルス対策ソフト」は、必ず、インストールする。その上、新しいウィルス定義が更新されたら、直ぐに、アップデートする(マイクロトレンド社の事故もあったが、やはりこれが基本だと思う)。

見知らぬメールのリンク、及び、添付書類などを、絶対に、クリックしない。

5. セキュリティ・ホール

ネット技術は、日進月歩である。それは、良いモノも悪いモノも。例えば、WEBブラウザの中で、設計ミスが見つかり、安全性上の弱点が出現。それが「セキュリティ・ホール」である。この点を上手く突き、アドレスバーやステータスバーを詐称する。

[対策法]

WEBブラウザの“アップデート情報”には、敏感になる。特に「セキュリティ・ホール関連情報」が出たら、直ぐに、アップデートする(ほとんど、この関連のことが多い)。

バックグラウンドで、更新する「自動アップデート機能」を働かせるのも良い。

6. ハッキング (クラッキング)

偽メールや偽HPのために、コンピュータを乗っ取る。犯行を隠すための踏み台に使われる。

[対策法]

「パスワードやID」を定期的に変える。「セキュリティ関連ソフト」のインストールなどによって、“安全の壁(セキュリティ・オール)”を高くする。

これは、あまり予測したくないことだが、日本も、アメリカ同様、“フィッシング詐欺”を含めた「オンライン犯罪」が増加していくことは、間違いないだろう。被害を少しでも食い止めるためには、“個人の意識を高める”以外ない。

それから・・・

2005年6月16日より、警察庁では、インターネットを悪用した犯罪の増加を受け、市民のトラブル相談に、ネット上で解決策を提供するHPを立ち上げた。

[インターネット安全・安心相談システム]

<http://www.cybersafety.go.jp/> ← このリンクは大丈夫です(^^)

何れにしても、“完全な対策法”はない。だから・・・

「色々な情報を、参考にした上で、“自己の安全改革”をする事が肝要」

**手を変え・・・→ <http://tinyurl.com/e3vnd>

ゴルフ場での「スキミング」は氷山の一角。貴方の極近くにある恐怖

内部のゴルフ場支配人が絡んで発覚した「大規模なスキミング犯罪」。貴方は聞いてはいても「スキミング」という言葉や犯罪の手口を、果たして正しく理解しているだろうか？

【“スキミング”とは一体なにか？】

簡単に説明すると・・・

カードの「磁気部分」に書き込まれた本人の個人情報をも、「スキマー」と呼ばれる装置で不正に読み取って、盗み、複製を作るカード偽造方法。

元々、英語から来ているが → Skimming (Skim+ming)
このSkimの意味は「(本など)を飛ばし読みする、ざっと読む」というところから、最近は頻繁に使われている。

10年以上前から、クレジットカードやテレホンカード、その他磁気データのスキミングや偽造が増え、クレジットやNTTなどは、少しずつ対策を講じて来たが、今回の件で明らかになったように、被害そのものは減っていない。

テレホンカードも、セキュリティなどを考え、「IC化」したが、実際は期限や使いにくさ、使える電話の少なさなどで公衆電話の利用者が敬遠し、撤退。従来のカードに戻る事となった。

クレジットについては「被害が明らか(自分の仕業ではない)になった場合」保険を活用することで解決としているが、被害が減ったとは思えない。

また、事故ということが明らかになっても「カードの発行拒否」や「限度額の引き下げ」など利用者側には、その後にデメリットが発生するケースも考えられる。

【実際の手口とその対応策】

現在、金融機関でのスキミング被害は、

- ATM、CD機の前で盗み見る「ショルダーハッキング」
- ATM、CD機付近での「小型カメラを利用したのハッキング」
(手で持ったり、機器の上部に設置したり)
- 電話で銀行員を装い聞き出す「電話身元確認」
- ATM、CD機と金融機関の電話回線を盗聴「ライントッピング」

他にもあるが、大部分がこの4つの手口である。「スキミング」自体はある意味“ハイテク”かもしれないが、その情報を得るために使用する方法は“ローテク”と言える。

手口の内「ライントッピング」以外は、利用者が気をつければ、被害を防ぐ事が出来る。ただし、巧妙な手口でやっている(周辺に仲間がいる場合も)ので安易に個人情報に人に漏らさない事である。また、おかしい動きのする人間がいたら、直ぐに係員などを呼ぶべきである(間違っていたら、素直に謝る)。

「ライントッピング」については、金融機関側は、被害が確認されていないとしているが、「責任回避」の為、認めていないとしているだけだと思われる。だが、ゴルフ場の事件と同様、もし、内部の人間が絡んでいたとしたら、この限りではない。

[対策（金融機関側）]

- キャッシュカードのID化
- 生体認証確認システムの導入
- 引き出し限度額の引き下げ(利用者の面倒は、犯罪者にも面倒になる)
- 暗証番号をATMなどで変更出来るようにする(実際にインターネットや携帯バンキングではそれが可能になっている)。
- ATMやCDなどにおいて「暗証番号」が本人にしか見えないように“目隠し”などの方策を講じる。

ID化は、確かに現段階では有効だが、完全に“IDカード”に移行するには、10年から20年かかると言われている。

既に“IDカード”を導入しているクレジット、プリペードカードで、スキミング被害が、既に出始めているので、導入だけを優先させると「対策が後手」に回ってしまう。

実は、この“IDカード”、ポケットに入るようなハンディな読み取り機などに近づければ、実に簡単に読み取ってしまうのでそういう面から見ても導入には十分に考慮の余地がある。

“生体認証確認”も有効だが、一つ考えてもらいたいのが、本人確認の面では良いが、夫の給料が入る通帳の出し入れなど管理は、妻が行うのが、一般的であり、このシステムだと夫本人以外は出し入れ出来ない。

また、本人が怪我などで長期入院していたり、海外出張などでいなくなったりする等の「本人不在ケース」が多く考えられるので、それらが少し問題となってくる。

引き出し限度額の引き下げが、この中で一番有効だが、キャッシュカードに頼り、財布に現金入れない人には不便が出ると思う(自分のお金を好きに出不いイライラを持つ人もいるはず・・・)。これも、自分の財産を守るためと「我慢モード」で！

[対策（個人）]

- カードごとに暗証番号を変える。番号を変える場合「生年月日」「電話番号」など類推しやすい数字は避ける。なるべく「定期的」に暗証番号を変えるようにする。
- 暗証番号を入力する際、覗かれていないか、周囲を注意する。
- 用途に応じた口座の使い分けをする（貯蓄用口座には、カードを作らず、普段使う口座、旅行用口座などと分けて、カードを作り、普段は1枚だけ所持する）。
- 利用明細を捨てず、きちんとファイルしておく事（明細からの情報でカードを偽造するのは不可能ではない。金融機関の保証を受ける為にも、自分以外の者の引き出し額を把握する為にも必要）。
- 異常な引き出しがないかを確認するため、こまめに「通帳記帳」をする。
- キャッシュカードを作らずに、面倒だが「印鑑」と「通帳」でお金を下ろすようにする。

カードごとの暗証番号は覚えきれないし、間違いが多ければロックされるので、面倒になる。しかし、ある程度のセキュリティを守るためには、利用者が「面倒」を享受しなければならない。

「口座を分け、肌身離さず持ち歩くしか方法は無い」

【“恐怖の手口”を一部公開】

昔のキャッシュカードの磁気データには、「個人データ」や「暗証番号」がきっちり書き込まれており、読み取れば簡単に引き出しをされていた(だから、古いキャッシュカードを使っている人は新しいものに切り替えた方がよい)。

現在は、個人データの一部を判別できないよう加工、暗証番号の部分を0000と番号を入れない(しかし、0000とすることにより、番号なしと同じで、書き込む事も出来る場合がある)。

口座番号、店舗番号、基本的個人情報と暗証番号をカードに書き込めば、比較的簡単に偽造できてしまう。

金融機関の保証などを付けてもらい、金融機関側だけでなく、個人が扱いや保管など気をつけ、ATMなど利用の時は、画面にかぶさる様な姿勢やハンカチなどで隠すなど、自己防衛しないと明日は、我が身である。

「暗証番号が、“最後の砦”であると肝に銘じるべし」

“悪質設備業者”は、「他の工事」を見計らってやって来る。気を付けろ！

先週、丁度、このメルマガを書いている時、「その男」が現れた。如何にも、“設備会社です”というような出で立ち・ユニフォーム。ついつい、家に入れた。

【入れてしまった理由】

言い訳になってしまうが…

その頃、タイミング良く、私の住むマンションでは、「排水管の洗浄」などの作業が行なわれており、設備業者が、毎日のように、行き来していた。他の補修工事なども、行なわれており、業者の出入りは頻繁であった。

人間というのは「勘違いする動物」である。私は、仕事柄、人よりは「悪質業者」に対する知識や対応法は、知っていると思う。だが、“過信はいけない”ということ、この1件が、痛感させてくれた。

目の前に立っている年の頃は24～25歳くらいの「設備会社風の男」。私は、この男を、最近、“マンションに出入りしている設備業者の社員”と、勝手に、勘違いしたのであった。

だから・・・

水道の排水管を、「ちょっと点検させて下さい」と言われた時も、何の疑問も感じず、彼を中に、招き入れてしまった。すんなりと言われた彼は、逆に、少し躊躇するような態度も、示した(後で考えるとこれも“演技”)。

【“悪徳業者”とのやり取り】

民間交渉人 Tak (以下、Tak.) と、この悪徳業者の男 W (以下、悪徳 W) とのやり取りの一部始終を、以下に記したい。今後、読者の皆様が、これを、一つの参考として、“悪徳業者の毒牙”に懸からないことを、祈るのみだ。

悪徳 W 「水道は、どちらですか？」

Tak. 「こっちだよ」

～排水管の点検もしないで～

悪徳 W 「排水管の洗浄をしたばかりですからね。

これからは、うまい水が飲めますね」

Tak. 「水道水だって、カルキをとばしたり、1日汲み置くだけで、味が全然違うよ。俺は、料理や飲み水には、備長炭を入れて、汲み置いた水を使う」

悪徳 W 「よくご存じですね」

Tak. 「でも、東京や大阪に比べたら、札幌の水は恵まれているよ。

ペットボトルにそのまま入れて、売られているくらいだからね」

悪徳 W 「へえ～、そうなんですか。どこで売られているんですか？」

Tak. 「市役所近くのローソンで売られていたみたいだよ。

今はあるか分からないけど…」

～序盤戦は、“こんな水”の話題で進んだ～

悪徳 W 「パソコン、たくさんありますねえ～」（目の前の机を指さし）

Tak. 「4台あるよ。その内、3台が、マック」

悪徳 W 「へえ～、すごいですね。僕もやりたいんですけどね」

Tak. 「好きなことから、始めないと、インテリアになっちゃうよ」

悪徳W「どのくらいするんですか？」

～こんな“パソコン談義”が、5～6分続いた～

悪徳W「ところで、“もっとおいしい水”を飲んでみたいと思いませんか？」

Tak.「まあ、おいしいことに、越したことはないけど…」

悪徳W「普段なら、2～3万円掛かる設備工事費が、今回はキャンペーン中で、“無料”なんですよ。まだ、枠があるかどうか聞いてみましょう」

～私の返事をほとんど聞かない内に～

悪徳W「例の件なんですけど、まだ、枠空いてますか？」

あっ、まだ、空いています！」（携帯電話でどこかに問い合わせ）

「(喜びの表情で)まだ、2つ空いているみたいです。ラッキーですね」

～ここで、“水道の横”を指さし、たたみ掛けるように～

悪徳W「工事は簡単に終わります。直ぐに、おいしい水が飲めますよ！

ただ、月に、最低でも、数百円いただくことにはなりますが…」

～ここまで、少し黙っていたが、彼の本音が分かると～

Tak.「うちは、パソコンを使った仕事もしているが、警察と密接に連携しているような仕事もしているんだ！おかしい業者は、直ぐに通報するぞ！」

悪徳W「いいえ、うちは、“ちゃんとした業者”ですよ」

Tak.「ちゃんとした業者なら、最初に、“名刺”を出すのが、筋だろう！！」

～チョッと、キョトンとした表情で“名刺”を差し出す～

Tak.「分かった。もう、いらないから、出ていってくれ！」

「ただ、おかしい事をやっているようなら、直ぐに、警察に知らせるぞ」

～恫喝された“悪徳W”は、すごすごと帰って行った～

【今回の総括】

本当は、こうなる前に、食い止めるべきなのである。それには、「自分で、勝手に判断するな(勘違いするな)」ということである。特に、最近は、“工事の情報”などを、事前に、収集してから、訪問するケースが増えている。

また、これは、営業の常套手段(私も使っていた)なのだが、「先ず、相手をほめる」「部屋にあるモノに興味を示す」「よくご存じですね”などと持ち上げる”などがある。今回は、これがふんだんに、用いられている。

後は、「その場で注文をもらってしまう」というのも、営業のテクニックの一つである。確かめてはいないが、彼が携帯電話を使って、残りの「枠」を聞いたのは、“自作自演”の可能性が高い。

人間の心理に基づいた行動である。何かしらの興味がある場合、「残りわずか=貴重=今、買わないと」という気持ちにさせるのである。この心理をうまく突いたのが、彼の“自作自演”である。

しかし、少しでも、営業経験のある人間から言わせると、こんなのは“初歩の初歩”である。だが、高齢者や社会経験の少ない人は、こんな事でも、コロッと欺されてしまう。

「卑怯なことに、“寂しい気持ち”などに、付け込むのである」

もう一つ、彼の行動で気になるのは、最初の訪問目的である「排水管の点検」を、全くしていないことである。もし、家に招き入れてしまった場合、“本来の目的”(業者にとっては違うが…)を、きちんと遂行しているか?を確かめることである。

それから・・・

偽の名刺だとしても、「会社名」などが確認出来るモノは、もらっておくこと。後で、それが役に立ってくる。私も、後日、その電話番号に、連絡してみると、面白いことが、判明した。

■名刺の全容（犯罪を未然に防ぐため、敢えて、“実名”にします）

[会社名]

—限りある資源と暮らしを科学する—

有限会社 北海道環境設備

〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条4丁目2番21号加森ビル3F
TEL: (011) 623-6277 FAX: (011) 623-6278

タックグループ 札幌市内 4店舗

タックフリーダイヤル 0120-921-132 (急に 良い水に)

[業務内容]

洗面所・キッチン・トイレ・浴室 水回りのメンテナンス

配管工事 水回りのリフォーム

《調査結果(推測含む)》

- 代表電話、フリーダイヤル共に、「タックコールセンター」につながる。そこには、Yなる女性がいて、転送電話を受けている。おそらく、会社とは、関係のない“アルバイトの女性”であると推測される。
 - おそらく、集団で、札幌市内にローラー作戦を敢行しているものと思われる。だが、慎重な部分もあり、作戦を決行する前には、情報収集しているものと考えられる。
-

「皆さんも、ちょっとした心の隙間に、

入り込んでくる“悪徳業者”にご用心を！」

* * 貴方も既に・・・→ <http://tinyurl.com/7krl6>

これが行政処分を受けた“悪質業者”だ！！知らずに欺されているかも…

“住宅リフォーム詐欺事件”を受けて、経済産業省は、7月1日、ホームページ上で、過去に、各都道府県で、行政処分を受けた“悪質業者”を公表した。

早速、そのホームページに、飛んでみた。その感想として、リストに入る前に、苦言を呈したい。公表されたこと自体は、良い事だが、104の“悪質業者”がリストアップされていながら、その内、33は、未公表。

しかも、最後に、関連URLが記載されているのだが、記されているモノは、間違っていないのだが、リンク自体が不完全で、きちんとその情報に、飛ぶことが出来ない(飛べるのは9リンクのみ)。余りにも、やる事が、不完全である。

本当に、「消費者(国民)のため」を思って、公表しているのかを、ちょっと疑いたくなる。消費者から、突き上げを食らって、情報を公表したら、まずいので、保身のために、仕方なく、公表をしているという姿が、垣間見られる。

そこで、私なりに、読者の皆様には、きちんと公表された情報を知っていたきたいという気持ちから、いつもとは少し趣向を変えて、“悪質業者”をリストアップしてみた。もちろん、URLは、ちゃんと飛べるようにしてあります。

出来れば、全部見ていただければ、良いのだが、ご自分の興味あるところだけでも、見ていただければ、幸いと存じます。

しかし、PDFファイルが多いので、回線が遅い方は、気を付けた方が良くかも知れません。作る側にとっては、PDFというのは、メリットがあるのですが、見る側からすると、htmlファイルに比べて、「水中で見ているような感じ」「動作が緩慢」というデメリットが、多いような気がします。

これら行政処分を受けた“悪質業者”は、ほんの一握りだと思います。けれど、欺されてから気付くより、知り得る情報は、自分の中に、インプットしておいて、損はないと思います。『“詳細な手口”なんかも記されています』

【“悪質業者”リスト】

(上段) 番号／会社名／販売形態／本社(本店)所在地／取扱商品

(下段) 関連記事のURL

01. (株) EarthWalker (連鎖販売取引) 大阪市【権利】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/houshikkou/rensahanbai050620.pdf>

02. (有) アジアン・オアシス (通信販売) 京都市【出会い系、アダルト】

03. (有) エス・ケー・アイ (通信販売)

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/houshikkou/meiwakuohushikkoudoc.pdf>

04. 日本技能開発センターこと大塚忠士 (電話勧誘販売) 東京都

05. 日本総合研究所こと及川繁弘 (同上)

06. 日本資格教育センター (有) (同上)【資格講座】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/denken3gyousha.pdf>

07. 全日法規 (株) (電話勧誘販売) 広島市【書籍、ビデオ】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/zennichiz.pdf>

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/zennichihouki.pdf>

08. サッポロ製薬 (株) (通信販売) 札幌市【健康食品】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/sapporo.pdf>

09. 日本ビジネスキャリア (株) (電話勧誘販売) 名古屋市

10. (有) 日本トラストプランニング (同上)【書籍等】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/businesscareer.pdf>

11. (株) CSA (電話勧誘販売) 広島市【資格講座】

12. (株) アピル (同上)

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/csa.pdf>

13. インターライフ（株）（連鎖販売取引）東京都【ディスポージャー等】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/interlife.pdf>

14. シーファイブ（株）（電話勧誘販売）東京都【資格講座】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/seafive.pdf>

15. （株）バルビゾン（訪問販売）大阪市【アクセサリー類】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/barubizon.pdf>

16. （株）ビジネスカルチャーセンター（電話勧誘販売）札幌市

17. （株）ビジネス研究社（同上）東京都【書籍、CD-ROM等】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/business.pdf>

18. （株）サンプレナースジャパン（電話勧誘販売）東京都【書籍、CD-ROM等】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/sanpure.pdf>

19. エネルギー資格者人材開発センター（電話勧誘販売）東京都

20. （有）日本電気工学協会（同上）

28. 日本電気工業会（同上）【資格講座】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/press/gyomuteishi83.pdf>

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/press/denki181.pdf>

21. （株）ピレーインターナショナル（電話勧誘販売）福岡市

22. （株）アドヴァンスブレーション（同上）【書籍、ビデオ】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/newrelease/piretoadvance.pdf>

23. （株）日本保健機構（電話勧誘販売）東京都【リトグラフ、絵画等】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/hokenkiko.pdf>

24. (株) カワイ化粧品 (通信販売) 東京都東大和市【化粧品】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/kawai.pdf>

25. (有) アクセス・コントロール (通信販売) 東京都

26. (株) リメイン (同上)【出会い系】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/remain.pdf>

27. (株) 友陣 (電話勧誘販売) 広島市【書籍】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/yuujin.pdf>

29. 通販倶楽部 (株) (業務提供誘引販売取引) 仙台市【チラシ配り】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/tsuhanclub.pdf>

30. (有) アクセス・コントロール (業務提供誘引販売取引) 東京都

31. (株) メディアタイム (同上)【パソコン学習教材】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/naishokushobun2.pdf>

32. 電気事業連合協会 (通信販売) 大阪市【資格講座】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/press/naishokuteishimeirei.pdf>

33. (株) マイン (業務提供誘引販売取引) 東京都

34. (株) メイコラボレーション (同上)【パソコン学習教材】

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/mainteishimeirei2.pdf>

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/release/meikora2.pdf> (file 重い)

35. (株) 日本排水管保安協会 (訪問販売) 札幌市【排水管清掃等】

<http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/syouhi/akushitu/press161206haisuikan.htm>

-
36. ライフシステムコーポレーションこと福元孝逸（訪問販売）鹿児島市
【温熱治療器】
-

<http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/syouhi/akushitu/press16.3.4.pdf>

37. (株) ジャパンオブザワールド（訪問販売）東京都
38. (株) ジョウサービス（同上）
39. (株) G I F（同上）
40. (株) オールアンドアシスト（同上）【DVD ソフト、会員サービス】
-

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2005/03/20f33100.htm>

41. (株) 新日本住宅管理サービス（訪問販売）神奈川県厚木市
【住宅リフォーム】
-

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2005/02/20f2a100.htm>

<http://www.pref.kanagawa.jp/press/0502/22025/>

<http://prosv.pref.saitama.lg.jp/scripts/news/news.exe?mode=ref&yy=2005&mm=2&seq=57>

http://www.pref.chiba.jp/syozoku/b_kenmin/customer/2004/torihiki001.html

42. (株) ワイドグループ（特定継続的役務提供）大阪市【家庭教師、教材】
-

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2004/12/20ecl500.htm>

43. (株) コスモ・メディア・インターナショナル（訪問販売）東京都
【英会話パソコンソフト、会員サービス】
-

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2004/11/20ebo600.htm>

44. (株) アドヴァンスワールド（業務提供誘引販売取引）大阪市【教材】
-

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2004/06/20e6t400.htm>

45. (有) サンイースト（訪問販売）東京都【排水管清掃、床下関連等】

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2004/06/20e6g500.htm>

46. (株)ウィーズインターナショナル (連鎖販売取引) 福岡県久留米市
【健康食品、化粧品等】

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2004/03/20e3v200.htm>

47. (株)ルネッサンス (業務提供誘引販売取引)
48. (株)データウェアハウス (同上) 【パソコンソフト CD-ROM】

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2004/03/20e3u300.htm>

49. A (訪問販売) 福岡市 【床下換気扇】

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2004/02/20e2q300.htm>

50. B (訪問販売) 東京都 【宝石、パソコン、会員サービス】

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2003/09/20d92100.htm>

51. C (訪問販売) 神奈川県 【寝具、布団カバー】

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2003/08/20d8j200.htm>

52. D (訪問販売) 東京都 【浄水器、掃除機】

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2003/03/20d3s100.htm>

53. E (訪問販売) 東京都 【宝石等】

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2003/03/20d3oa00.htm>

54. F (業務提供誘引販売取引) 札幌市 【一般旅行業務主任者試験関連】

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2003/02/20d23100.htm>

55. G (訪問販売) 横浜市 【羽毛布団、羊毛布団、除湿剤】

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2002/12/60CCP500.HTM>

56. H (訪問販売) 東京都【化粧品、美容器】

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2002/12/60CCH300.HTM>

57. I (訪問販売) 東京都【住宅リフォーム】

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2002/05/20C5UD00.HTM>

58. J (特定継続的役務提供)【語学教室】

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2002/04/20C4G100.HTM>

59. (有) ルイズヨコハマ (訪問販売・特定継続的役務) 横浜市
【美顔器、男性化粧品、美顔エステ】

<http://www.pref.kanagawa.jp/press/0411/22012/>

60. (株) 関東美装 (訪問販売) さいたま市【屋根、リフォーム等】

<http://prosv.pref.saitama.lg.jp/scripts/news/news.exe?mode=ref&yy=2005&mm=3&seq=93>

61. (株) ルネックス (訪問販売) 名古屋市【床下関連】

<http://prosv.pref.saitama.lg.jp/scripts/news/news.exe?mode=ref&yy=2004&mm=4&seq=15>

62. (株) セラシステム中部 (訪問販売) 山梨県甲府市【ソーラーシステム等】

<http://www.pref.yamanashi.jp/pref/cellphone/viewNewsCell.jsp?id=1116553414983&dir=200505>

63. (有) ライフアップ (訪問販売) 埼玉県本庄市【消火器等】

<http://www.pref.shizuoka.jp/seibun/sb-12/kouhyou/1701.htm>

64. (株) ウィンズ (訪問販売) 横浜市【寝具等】

<http://www.pref.shizuoka.jp/seibun/sb-12/kouhyou/1609-1.htm>

65. (有) トレジャー (訪問販売) 横浜市【寝具等】

<http://www.pref.shizuoka.jp/seibun/sb-12/kouhyou/1609-2.htm>

66. (株) エム・エフ・ジー (訪問販売) 静岡市【寝具】

<http://www.pref.shizuoka.jp/seibun/sb-12/kouhyou/1603.html>

67. (株) 教文堂 (訪問販売) 静岡県浜松市【指圧代用器、ネックレス等】

<http://www.pref.shizuoka.jp/seibun/sb-12/kouhyou/1510.html>

68. (株) サンメイクス (訪問販売) 静岡市【排水管清掃等】

<http://www.pref.shizuoka.jp/seibun/sb-12/kouhyou/1506-1.html>

69. (有) 昇栄住宅設備 (訪問販売) 静岡市【排水管清掃等】

<http://www.pref.shizuoka.jp/seibun/sb-12/kouhyou/1506-2.html>

70. (株) ケンシン (訪問販売) 静岡県沼津市【家屋の修繕、改良】

<http://www.pref.shizuoka.jp/seibun/sb-12/kouhyou/1411.html>

71. (株) 国際羽毛 (訪問販売) 名古屋市【寝具、布団クリーニング】

<http://www.pref.aichi.jp/kenmin/shohiseikatsu/oshirase/shobun/kokusai.html>

72. (株) 華政蔵 (訪問販売) 石川県能美市【着物、宝飾品等】

<http://www.pref.ishikawa.jp/seikatu/anzenka/shouhi/jourei/kohyo1.pdf>

73. (株) 美豊 (特定継続的役務提供) 山梨県富士吉田市【結婚紹介】

<http://www3.pref.shimane.jp/houdou/files/0F310B26-DAAB-4FAB-9836-CA179058154B.pdf>

74. (株)フレックスライフ (連鎖販売取引) 東京都羽村市【健康機器等】

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/wbase.nsf/0/4e5efc7a83a1733d49256fd600170098?OpenDocument>

75. 個人事業者 河内淳 (訪問販売) 熊本県菊池郡【換気扇フィルター】

http://www.pref.kumamoto.jp/asp/news.asp?page_flag=houdou&theme_no=3&i_news_no=5817

最後に・・・

上記のリストでも、分かるように、会社名を変えるなどして、悪行を繰り返し、懲りずに、行政処分を受けている“悪質業者”が存在します。この悪徳業界では、捕まえてみたら、再犯というケースが非常に多く見受けられます。

振り込め詐欺と同様に、彼らの話術や売る技術は、日々進歩しています。だから、いくら、大人になって、自分は判断力があると思っても、「大きな契約」をする時は、1人くらいでも、他人の判断を仰いだ方が、良いと思います。

**気を付けないと・・・→ <http://tinyurl.com/99u7l>

最後に…

ここまで、読んでいただきまして、誠に、有り難う御座います。

私達の希望とは逆に、世の中はどんどん悪い状況に、向かっているようです。

「自分を守る」＝「自己責任」の時代になってしまいました。

そんな中で、私は、少しずつでも、『皆さんの守る術』を発信し続けます。

T a k

注 意

- この特別レポートの著作権は「住みやすい世の中を作る研究会」に属します。
- この特別レポートは、加筆、修正の上、“有料レポート”として販売されます。
- この特別レポートは、あなたが個人的に使用することだけを認めます。
- この特別レポートの全体、または、一部転載やコピーを、自分以外の他人に無料、有料にかかわらず、転送、配布、閲覧させることを、一切禁じます。

Version2.0

著者 住みやすい世の中を作る研究会 T a k (本名・田畑 拓也)

HP : <http://www.unlimit517.co.jp/greyzone.htm>

連絡先 : tabata@lnego.com